

## 令和4年度「妊産婦に関する調査」フォローアップ調査(追跡調査)調査票等(案)

資料掲載順

No	内 容		掲載頁
1	「妊産婦に関する調査」 フォローアップ調査 (追跡調査)	調査票(案)	③-78
2		リーフレット(案) 調査票送付時に同封	③-80

**「平成26年度妊産婦に関する調査」にご回答いただいた方へ  
 出産後8年目アンケートのお願い**

このハガキは、平成26年度「妊産婦に関する調査」にご回答いただいた方(平成25年8月1日～平成27年4月23日までにご出産された方)を対象として、市町村からご住所の情報提供を受けてご連絡さしあげております。

**【お問い合わせ先】**

放射線医学県民健康管理センター

専用ダイヤル：024-549-5180

(平日 9:00～17:00)

メール：nimpu@fmu.ac.jp

**【お問い合わせ用 整理番号】**

福島県立医科大学では、福島県の委託を受け、県民健康調査「妊産婦に関する調査」を行っています。皆さまには「平成26年度妊産婦に関する調査」にご回答いただきありがとうございました。調査の結果から、震災後に出産された方たちも不安をかかえている方が多いことがわかり、さらに平成30年度に実施した産後4年目の追跡調査でも、支援を必要とされる方が多いことが分かりました。また、お子さまが大きくなるにつれ、特にこのコロナ禍では、新たな悩みが出てくることもあります。そのため、出産後8年経った皆さまのこころと身体の健康状態の経過を伺い、不安の軽減や必要なケアの提供のお手伝いができればと考えております。今回、過去の妊産婦調査で得たご本人様の情報を基に、ご連絡をさしあげています。ご回答いただいた内容により、専任の保健師、臨床心理士等からお電話させていただく場合がございます。回答は任意です。回答されなくても不利益を被ることは一切ありません。

(調査結果の詳細は当センターのホームページに掲載しています。https://fukushima-mimamori.jp/pregnant-survey/)

**A、B どちらかご都合のよい方法で、ご回答いただけます。**

**A ハガキの郵送**



下のキリトリ線に従ってハガキを切り離しポストに投函してください。

**B オンライン回答**



①直接アクセス(スマホなど)

右の二次元コードを読み込んでください。整理番号とアクセスキーの入力は不要です。または、

②下記の URL を入力してアクセスし、オンライン用整理番号とアクセスキーを入力してください。

https://fukushima-mimamori.jp/nimpu

オンライン用  
整理番号  
アクセスキー

以下の質問に対して、右の回答欄の当てはまる□に✓してください。

〈質問〉

- ①あなたはふだんご自分で健康だと思いますか?
- ②ここ最近1ヶ月間、気分が沈んだり、憂うつな気持ちになったりすることがよくありましたか?
- ③ここ最近1ヶ月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは、心から楽しめない感じがよくありましたか?
- ④子育てに自信がもてないことがありますか?
- ⑤放射線の影響について不安なこと全ての□に✓を記入してください。
- ⑥お子様はこれまでに入院された病気はありましたか?
- ⑦お子様のことで心配なこと全ての□に✓を記入してください。

ご回答ありがとうございました。

アンケートの送り方は裏面をご参照いただき、保護シールを貼付し、投函してください。

-----キリトリ線-----

	フリガナ	【お問い合わせ用 整理番号】
回答者氏名		□本人 □代理(続柄)
〈回答〉		
① □非常に健康だと思う □まあ健康な方だと思う	□あまり健康ではない □健康ではない	※ お子様的人数と一番下のお子様の年齢を教えてください。 お子様的人数 ( ) 人 一番下のお子様の年齢 ( ) 歳 ( ) 月
② □はい □いいえ		この調査についてのご意見、ご要望又はご自身の体調や子育ての心配事など、ご自由にお書きください。
③ □はい □いいえ		
④ □はい □いいえ □何ともいえない		
⑤ □水 □食品 □子どもの外遊び	□子どもの健康 □偏見 □遺伝的な影響	
□その他 ( )		
⑥ □はい(病名: )	□いいえ	
⑦ □こころと身体の発達 □病気 □生活習慣 □学校生活	□その他 ( )	
※住所に変更がございましたら、ご記入ください。		
〒	都・道 府・県	市・区 郡
		町・区 村
※ご回答内容により専任の保健師等からお電話させていただく場合がございます。平日、ご連絡がとれる電話番号をご記入ください。		
電話番号		つながりやすい時間帯
( )	-	□午前 9:00～12:00
携帯番号		□昼休み 12:00～13:00
( )	-	□午後 13:00～17:00

左右を両面印刷し、三つ折りにし封書で発送。

回答は、はがきをキリトリ、保護用紙を貼付し返送。

### <個人情報の取り扱いについて>

本アンケートに関する個人情報は、県民健康調査において使用するほか、お住まいの市町村にも必要に応じて提供させていただきます。また、アンケートへの回答や結果、回答に基づく支援内容等については、学術的研究目的の利用及び公表（統計処理等）をしますが、個人が特定される形で公表することはありません。

キリトリ線

9601290

福島市光が丘一丁目

福島県立医科大学  
放射線医学県民健康管理センター 行



県民健康調査  
はがき

県民健康調査

福島県・福島県立医科大学

〒960-1295 福島市光が丘一丁目  
公立大学法人 福島県立医科大学  
放射線医学県民健康管理センター  
お問い合わせ先 TEL.024-549-5180

「平成26年度妊産婦に関する調査」にご回答いただいた方へ  
出展後8日以内アンケートのお願い

差出有効期間  
令和5年12月  
31日まで

料金受取人払郵便

福島中央局  
認  
承

### アンケートの送り方

1 キリトリ線に沿ってはがきを切り離してください。



2 はがきの記入欄に必要事項を記入してください。



3 同封のシールをはがきの裏面に貼り付けて記入欄が見えないようにしてください。



4 そのまま郵便局へお出しください。



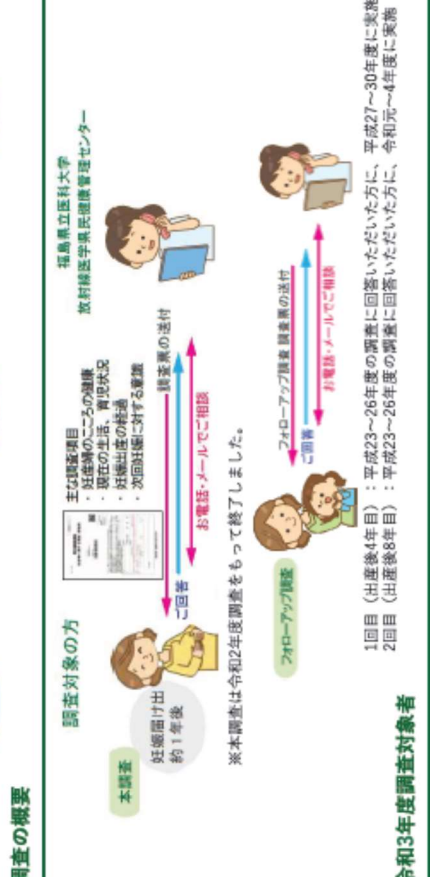
キリトリ線

郵便はがき

# 令和4年度フォローアップ調査 (追跡調査) リーフレット

リーフレットについては、令和3年度内容をベースに見直しを行い、令和4年度フォローアップ調査(追跡調査)発送時に同封する予定である。

平成25年度調査結果  
～見直し～  
福島県と福島県立医科大学  
が連携して実施した調査結果を  
お知らせいたします。  
今回、調査の概要や  
福島県内の産科・周産  
医療機関の連携について  
お知らせいたします。



## 令和3年度調査対象者

● 2回目フォローアップ調査  
平成25年度調査に回答いただいた方

調査対象者数と回答数 (令和2年度調査結果の集計は令和3年6月30日現在のものです)

本調査	調査年度	対象者(A)	回答数(A)	回答率(%)
1回目フォローアップ調査 (出産後4年目)	H23	16,001	9,316	58.2
	H24	14,516	7,181	49.5
	H25	15,218	7,260	47.7
	H26	15,125	7,132	47.2
	H27	14,572	7,031	48.3
	H28	14,154	7,326	51.8
	H29	13,552	6,449	47.6
	H30	12,838	6,649	51.8
	R01	11,909	6,328	53.1
	R02			
2回目フォローアップ調査 (出産後8年目)	2021	7,252	2,554	35.2
	2022	5,602	2,021	36.1
合計		6,643	2,354	35.4
中間結果		5,152	2,171	42.1

震災時に妊娠・出産された方へ  
2回目のフォローアップ調査を実施

### 子育て中のお母さんへ

体調はお変わりないですか？令和2年度に実施した2回目のフォローアップ調査では、更年期や子どもの発達、家族関係の悩みなどからくる心身不調など、「母親のこころや身体への健康」についての相談が多く寄せられました。毎日子どもと一緒にいると、思うように家事が進まず、好きなこともできません。ストレスが蓄積し、イライラしてつい子どもにあたってしまい、自己嫌悪になってしまっている方もあります。

リフレッシュするために自分以外の誰かに子どもを預けることは決して悪いことではありません。週末はパパに子どもを育ててもらい、保育園の一斉保育やファミリーサポートを利用するなどして、少しでも自分の時間を確保することが大切です。

また、話したいことや悩みなどがある場合は、以下の相談窓口を活用しましょう。

### 調査に関する相談・支援のお問い合わせ

調査の回答内容から、支援が必要と思われる方には専任の保健師・臨床心理士等からご連絡いたします。また、電話やメールを通して不安や悩みに関するご相談も受け付けています。下記お問い合わせ先までご連絡ください。

公立大学法人 福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター  
妊産婦調査専用ダイヤル  
024-549-5180 (平日 9:00~17:00)  
妊産婦調査専用メール  
nimpu@fmu.ac.jp

### 子育て等に関するサービス (令和3年度)

- ◎ 女性の心身の健康に関する相談  
女性のミカタ健康サポートコール (福島県ホームページ) (月~金 9:00~17:00 ※祝祭日を除く)
- ◎ 精神的な悩みや心の健康に関する相談  
こころの電話 (福島県精神保健福祉センター) 電話 024-535-5560 (月~金 9:00~16:00)
- ◎ 発達に関する相談  
福島県発達障がい者支援センター 電話 024-951-0352 (月~金 8:30~17:00)
- ◎ SNS相談  
SNS相談を行っている団体一覧 (厚生労働省ホームページ)
- ◎ 妊娠・出産・育児に関する相談  
子育て世代包括支援センター (福島県教育センター) 電話 0120-453-141 (月~金 10:00~17:00)
- ◎ ひきこもりに関する相談  
福島県ひきこもり相談支援センター 電話 024-573-0866 (火~土 9:30~17:30) メール shien-hikikomori@fukushima-youth.com

◎ 妊娠産科に関する調査について、詳しくはホームページをご覧ください。  
<https://fukushima-mimamori.jp/pregnant-survey/>

福島 妊産婦調査 Q 検索

公立大学法人 福島県立医科大学  
放射線医学県民健康管理センター  
〒960-1295 福島市光が丘1番地  
電話 024-549-5130 (平日 9:00~17:00)  
メール kenkan@fmu.ac.jp

## これまでの「妊産婦に関する調査」からわかります

### 早産率、低出生体重児率、先天奇形率の推移

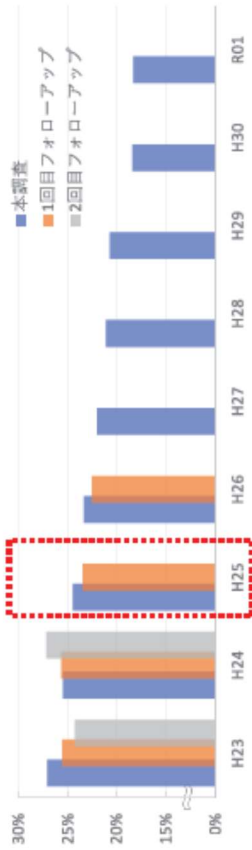
本調査の結果、早産率、低出生体重児率、先天奇形率は、全国調査の値や一般的な水準と同等になっています。

	早産率(%)		低出生体重児率(%)		先天奇形・先天異常発生率(%)	
	本調査	全国調査	本調査	全国調査	本調査	一般的な水準
H23	4.6	5.7	8.6	9.6	2.85	
H24	5.6	5.7	9.2	9.6	2.39	
H25	5.2	5.8	9.6	9.6	2.35	
H26	5.3	5.7	9.8	9.5	2.30	3~5
H27	5.6	5.6	9.4	9.5	2.24	(産婦人科診療ガイドライン産科編2020より)
H28	5.3	5.6	9.2	9.4	2.55	
H29	5.3	5.7	9.2	9.4	2.38	
H30	5.2	5.6	9.0	9.4	2.19	
R01	5.1	5.6	9.1	9.4	2.71	

※早産であった方を除いて調査計したため、報告率の値と異なります。  
 早産：妊娠22週から37週未満で生まれた赤ちゃん、低出生体重児：2,500gより小さい生まれた赤ちゃん  
 全国調査：人口動態統計における年単位の新着

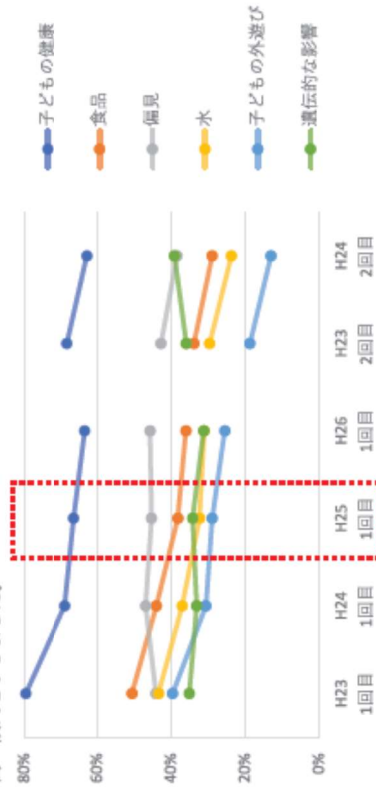
### うつつ傾向の推移

本調査の結果、年々うつつ傾向が改善しています。令和元年度本調査の「うつつ傾向あり」の割合は、全国の産後うつつ病疑いの割合と同等になっています。  
 平成25年度回答者は、1回目フォローアップ調査において、うつつ傾向が改善しています。



### 放射線の影響について心配なこと

1回目及び2回目フォローアップ調査の結果、「偏見」「遺伝的影響」はほぼいい傾向ですが、「子どもの健康」「食品」「水」「子どもの外遊び」に不安を感じる母親は少なくなっています。  
 平成25年度回答者は、1回目フォローアップ調査において、「子どもの健康」への不安が一番高い傾向を示しました。



### 電話相談の内容

平成23年度本調査では、「放射線の心配や影響」に関する相談が一番多い結果でした。最近では、「母親のこころや身体の健康」に関する相談が多くなっています。

順位	本調査					2回目フォローアップ調査					1回目フォローアップ調査				
	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27	H23	H24	H25	H26	H27
1位	放射線の心配や影響 身体の健康	母親のこころや身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	母親のこころや身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	母親のこころや身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	母親のこころや身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	母親のこころや身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	母親のこころや身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康
2位	母親のこころや身体の健康	子育て関連	放射線の心配や影響 身体の健康	子育て関連	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	子育て関連	放射線の心配や影響 身体の健康	子育て関連	放射線の心配や影響 身体の健康	子育て関連	放射線の心配や影響 身体の健康	子育て関連	放射線の心配や影響 身体の健康	
3位	子育て関連	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	放射線の心配や影響 身体の健康	

### Q & A

#### Q 上手に歯磨きができません、永久歯の虫歯が心配です。

福島県の小学生のむし歯被患率は51.4%と近年は減少する傾向にありますが、全国と比較し11.2%上回っています。  
 小学校低学年の時期は乳歯から永久歯へ生え変わる時期で、奥に生える永久歯は12~13歳ごろに生えそろいます。奥歯の磨き残しが多くなりやすいため、フッ素入り歯磨き粉を使用し、就寝前の仕上げ磨きをするなど、歯の様子を気にかけてあげましょう。また、おやつは1日2回程度、時間を決めて食べるようにし、ふだんの水分補給は水やお茶などの甘い飲み物にしましょう。

参考：令和2年度学校保健統計(福島県)、母子健康手帳

#### Q おねしょを治すには、どうすればよいですか？

「5歳以降に1か月に1回以上の夜尿が3カ月以上続くこと」を夜尿症と言います。小学校入学時におよそ10人に1人いると言われています。「寝る前におしっこをささせる」、「寝床を濡れる」、「眠っている時は起こさない」、「温かくして眠ること」がよいとされ、成長とともに自然に治ると言われています。悩んでいる場合には、泌尿器科や小児科で治療が可能ですので、相談をお勧めします。

参考：日本夜尿症学会「夜尿症診療ガイドライン2016」

#### Q 将来の子どもの健康不安や、被災したことへの偏見の目が心配です。

福島県が実施した内部被ばく検査の結果によれば、検査を受けた全員が健康に影響が及ぶ数値ではなかったとされています。さらに、妊産婦に関する調査の結果から、震災後、福島県内における先天異常の発生率は、全国的な統計や一般的に報告されているデータと差がないことが確認されています。  
 偏見による差別やいじめをすることは決して許されるものではありません。根拠のない思い込みから生じる風評に惑わされることなく、信頼できる情報かどうかを確認し、科学的根拠や事実に基づいて行動していくことが必要です。

参考：文部科学省 放射線相談本

#### Q コロナ禍で子どもは外出や友達と遊ぶことを避けたほうがいいでしょうか？

子どもにとっても遊ぶことは、心身の発達においてとても重要です。感染のリスクを下げるためにマスクを着用するほか、「みんながよく触れる場所に触った後は手洗いを」、「少人数にする」、「食事をとるときは対面にならぬように工夫をする」などをすれば、外出や子ども同士の遊びは可能です。また外出する際は、流行状況を確認し移動等の自粛要請が出ていないことを確認しましょう。

参考：日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会 新型コロナウイルス感染症に関するQ&A

「妊産婦に関する調査」の詳しい結果は、ホームページに掲載しています。

<https://fukushima-mimamori.jp/pregnant-survey/result.html>

妊産婦調査 結果

検索

